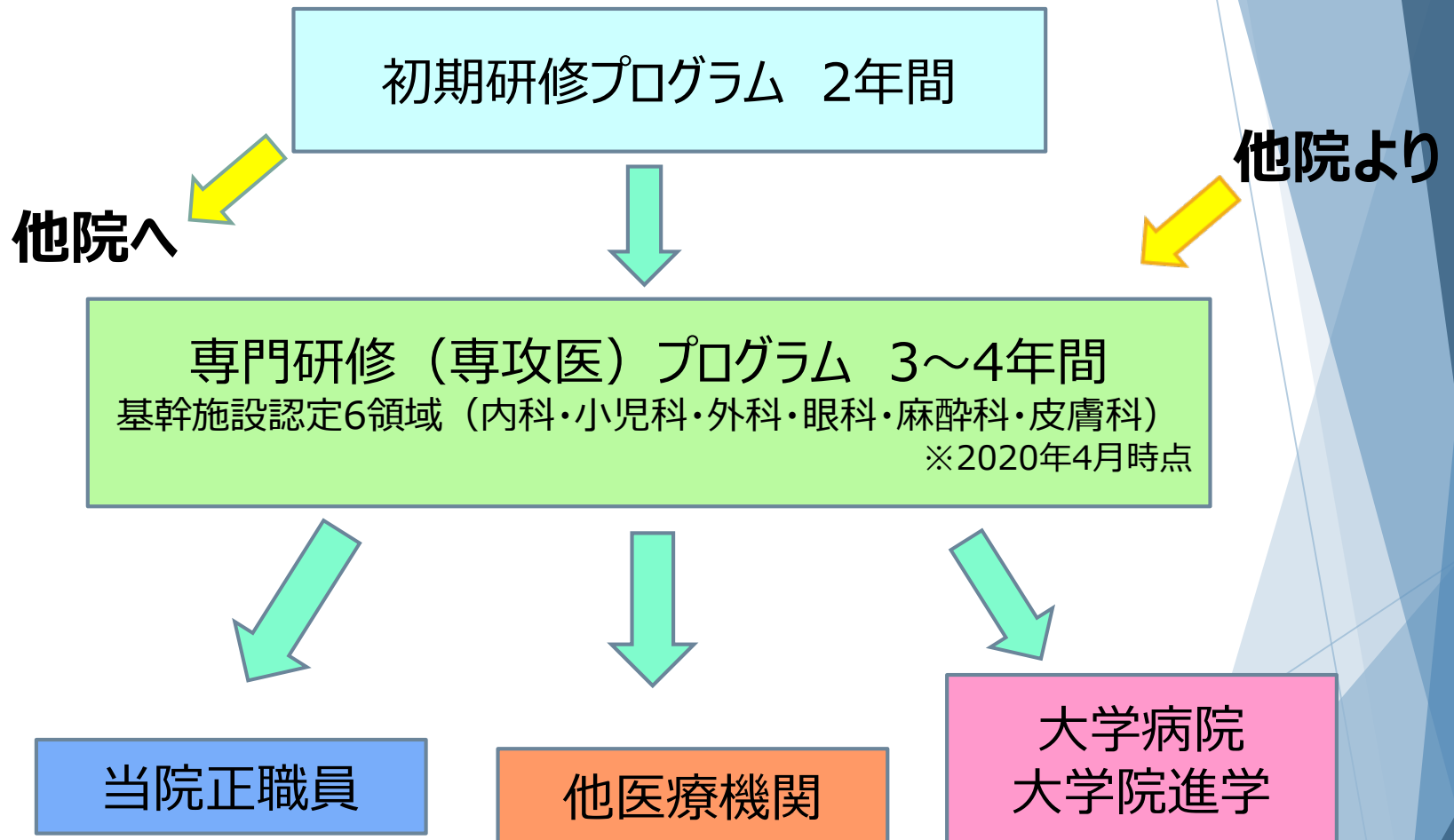


大阪赤十字病院における医師研修の概要



2020年 研修医ローテーション表 (一例)

1年目

氏名	26週 (内一般外来3.5週)				8週	8週	4週	4週 (内一般外来 0.5週)
A	消内 内臓	糖尿 腎臓	循環 血液	呼内 神経	麻酔	救急	外	小児

※内科系8科を2科ペアで6週間ずつローテート

※内科研修中に一般外来を並行研修 (3.5週)

2年目

氏名	4週	4週	4週	4週	36週
A	救急	精神	産	地域	選択科

(日程については2021年度のもの)

厚生労働省の新基準

※必修科目：内科24週以上、救急12週以上、地域医療4週以上、一般外来4週以上
外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上

大阪赤十字病院初期研修の特徴

1. 内科研修：1クール6週間で、2科ずつのローテーションを4クール、計8科ある内科をすべて経験する。
2. 一般外来は1年目の内科・小児科研修中に並行研修を行う。
3. 救急当直以外に救急科ローテーション12週間は必修。
4. 地域医療研修：近隣の協力病院または協力診療所で行う。
5. 2年次に希望する科（病理、放射線科を含む）を4週単位ずつラウンドできる。

当直体制（医師）

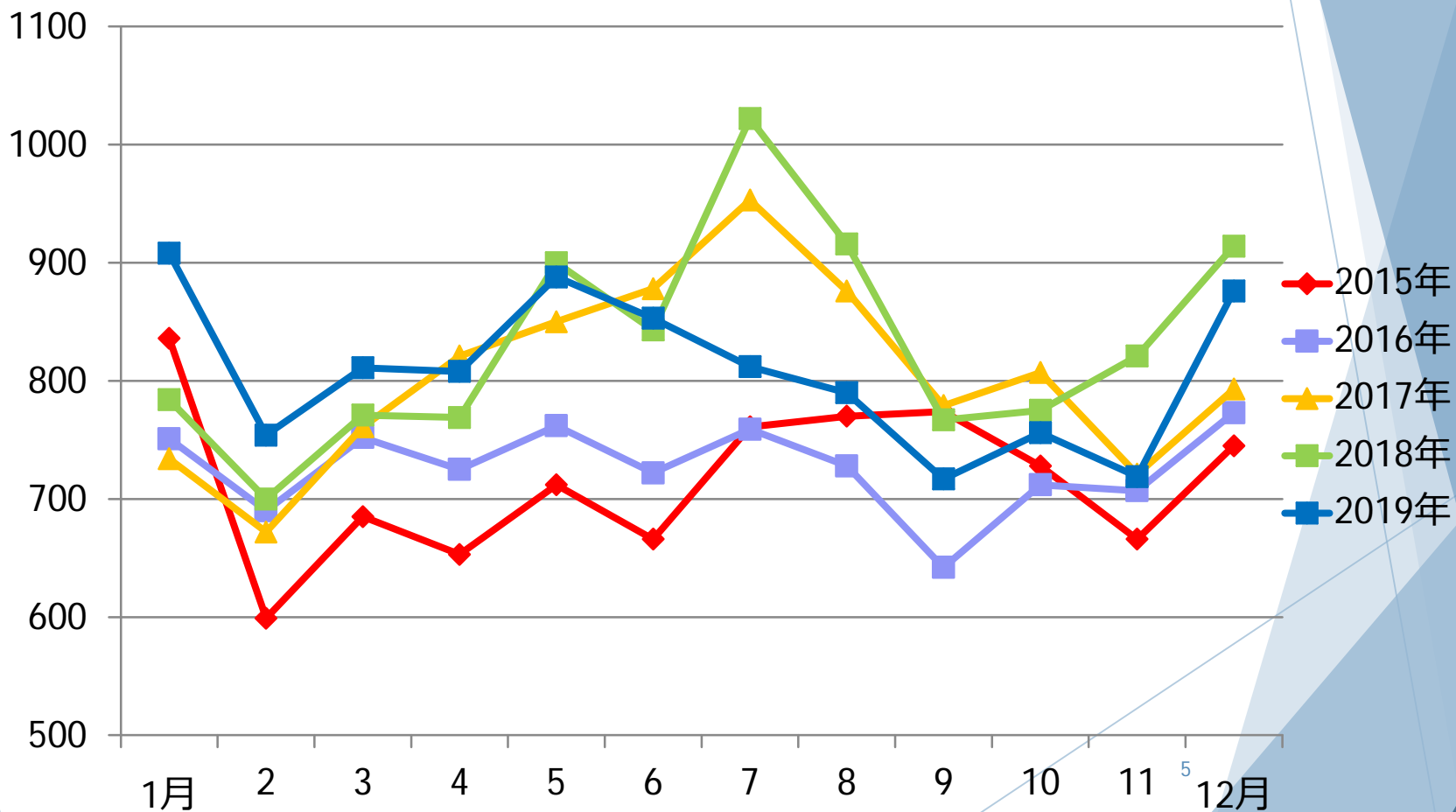
- 管理当直（部長、副部長）
- 内科
- 消化器外科
- 小児科
- 産婦人科
- SCU（脳神経外科・脳神経内科）
- 麻酔科
- ICU・CCU
- NICU
- 放射線診断科（日直）
- 精神神経科

- 救急部当直：5名
 - 第1当直（1年目初期研修医）
 - 第2当直（2年目初期研修医）
 - 第3当直（1年目専攻医）
 - 救急内科当直（内科系専攻医・医師）
 - 救急外科当直（外科系専攻医・医師）
- 1年目の4月は見習い当直
5月連休明けから第1当直、月3回程度

大阪赤十字病院救急救命センター

大阪府13カ所、大阪市6カ所の救急救命センターの一つ。

月別救急車受け入れ台数



救急救命センター 来院時の年間重篤患者数 内訳 (2019年)

疾患	例数
重症急性冠症候群	126
心停止	154
重症急性心不全	95
重症呼吸不全	88
重症脳血管障害	115
重症消化管出血	115
重症敗血症	151
重症出血性ショック	22

疾患	例数
重症外傷	232
重症大動脈疾患	40
重症体温異常	7
重症急性中毒	6
重症熱傷	5
重症意識障害	10
重篤急性腎不全	28
特殊感染症	13

研修環境・その他

- 2013/01/01より電子カルテ稼働
- 2011秋より専攻医にも時間外手当支給
- 演題採択された者は学会出張旅費を補助
- 各自の机に院内LANが来ており、当院購入電子ジャーナルが閲覧可能。“up-to-date”も無料で利用可能。
- 毎週水曜日、各科の講義あり。月1回はCPC。
- 研修医の自主的な独自の勉強会
- 院内に24時間コンビニ

研修に関する当院のアピールポイント

- 各科とも症例が豊富 = 勉強になる
- 多くの専門医がいる = すぐ聞ける
- 最新の医療を学ぶことができる
- 内科全 8 科を経験できる
- 多くの救急患者をファーストタッチで診ることができる
- 研修医が多いので、独自の勉強会をしている
- 専攻医への道がある
- 研修環境が整っている